



ぐるっとマップ

No.138 大町の歌碑 **保存版**

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町



日頃何気なく目にしている歌碑。歌や句が刻まれた文学碑は、大町市内だけで30以上の数に上ります。季節の情景を切り取ったものも多くありますが、故郷の山河を詠ったものもまた多く、碑に込められた先人たちの思いを今に伝えています。今回のマップでは、数ある碑の中から、故郷を詠った文学碑を選んで紹介します。



3. 杓底の一残水 流れを汲む千億人 一 道元禅師 (大町ダム)
曹洞宗の開祖道元禅師の詞とされ、杓杓の底に残ったわずかな水も、捨てず河に返せば多くの命が、また水の恩恵にあずかれるという意味。大町ダムを見下ろす高瀬溪谷緑地公園内にあり、水を大切に活用しようという関係者の願いが読みとれます。



4. 雪嶺や天に鬱金の鷹ひとつ 一 座光寺亭人 (大町ダム)
座光寺亭人は、大戦中南方の激戦地を転戦しながら、戦地から句誌「馬酔木」に投句したという俳人です。塩尻出身ですが、戦後は大町に暮らし、藤田相子の句誌「鷹」の同人として多くの句を残しました。

8. 山を想えば人恋し 人を想えば山恋し

一 百瀬慎太郎 (JR信濃大町駅前)
百瀬慎太郎は大町に日本で初めての山業内組合を設立し、北アルプス開拓の先駆者として活躍。文芸にも関心を寄せ、いくつもの秀歌を残しています。



9. 玉鉾のみち遠くとも信濃なるまよとの滝は立ち寄りてみむ

一 三条公修 (清音の滝)
三条公修は明治維新の功労者三条実美の祖父にあたり、歌は嘉永2年(1849年)以前につくられ、板に記されていましたが、その後石に刻まれたといわれます。



10. 児等の画布に写され山も笑うなり

一 清水允吉 (上-信号機の北東、昭和5年)
清水允吉は常盤上-の生れで、大町小学校で長く教鞭をとった教育者。退職後に俳句を始め、子供たちと共に過ごした日々を句に残しました。

11. 山嶽めぐり北安曇 高嶺の雪は夏寒し 溶けて落ちくる谷水の末は姫川高瀬川

北安曇郡歌の八連の歌詞が刻まれた石碑。一 浅井列 (西山城址二の郭、昭和50年)
北安曇郡歌は明治36年に作られて以来、北安曇郡内の学校で愛唱されてきました。この碑も、小学校時代を懐かしむ地元の人々の思いにより建立されたといわれます。

※今回のマップ制作では、大町市文化財セクシタ監修の「信濃おまわり文学碑めぐり～北アルプス山麓ふらり散歩」を参考にさせていただきました。



1. 夏山や学堂めぐる森の湖

一 加藤犀水 (森城址、大正15年)
加藤犀水は大正初期に信濃木崎夏期大学の創設に尽力した教育者で、俳人でもありました。句に詠まれた学堂は、夏期大学が開かれる信濃公堂のことです。

2. 木崎湖を一周させむと夢みフ

一 児等と泳ぎて過ぎ六年
一 黒田英雄 (平公民館、昭和63年)
黒田英雄は平小学校の前身、平国民学校の教師で、アララギ派の歌人。木崎湖は平国民学校から平小学校を通して、子どもたちの夏の水泳場でした。



5. 春は名のみ風の寒さや谷の鶯歌は思んど 時にあらずと声も立てず

一 吉丸一昌 (文化会館、平成12年)
この有名な唱歌「早春賦」の舞台は安曇野～大町ではないかとされており、一説には早春の稲尾谷～木崎湖の情景をうたったものといわれています。大町高校の校歌は、この吉丸一昌の作詞によるものです。



6. 国破れ人変われども山河あり 君夢に見し故郷ぞこれ

一 小野彰 (大町公園、昭和36年)
自らも軍医として南方激戦区を転戦した作者が、故郷の山河を夢見ながら、遠い戦場に散った人々に捧げる歌で、大町戦友会と市遺族会によって建立されました。



7. 菖蒲葺き町にそびゆる鹿島槍

一 鳥羽とほる (市立大町総合病院東端、平成9年)
鳥羽とほるは松本市出身の医師で、大町病院の院長だった人です。句誌「草の実」を主催してこの地方の俳句愛好者の先達となりました。



ぐるっとマップのダウンロードを再開しました。また、マップで紹介できなかった詳細情報も掲載しています。ご利用ください。HP <http://www.gurutta.net>
ぐるっと事務局: TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※このマップは、2016年3月11日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意下さい。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。